

県人口 272万5004人 増加数 16万6997人 増加率 6.5%

この調査結果は、県が集計したものであり、後日国が公表する数値と異なる場合があります。

1. 県人口は65年間で2倍に

昭和60年国勢調査による茨城県の総人口は、2,725,004人となり、270万人を上回った。本県の人口は、大正9年の第1回調査時に135万人であったから、65年間で2倍に達したことになる。

これを前回(昭和55年)調査時と比較すると、この5年間に166,997人増加している。増加率は6.5%。この数は土浦市、石岡市両市を合わせた人口にほぼ匹敵し、依然大幅な増加が続いていることを示している。

しかし、これを前回の増加と比較すると、増加数で48,812人少なく、増加率も2.7ポイント低下している。

本県の人口は、図-1でもわかるように、昭和22~40年の間の横ばい状態から、昭和40~45年に増加に転じ、昭和45~55年の10年間は5年間で10%近い高い増加率を示していたが、県常住人口調査でも示していたように、ここ5年間人口の伸びは鈍化してきた。

県人口を男女別にみると、男が前回より85,369人増加(増加率6.7%)して1,357,902人、女が81,628人増加(同6.4%)して1,367,102人となった。

この結果、男女の比率を示す性比(女100人に対する男の数)は99.3となり、前回比0.3ポイント高くなった。

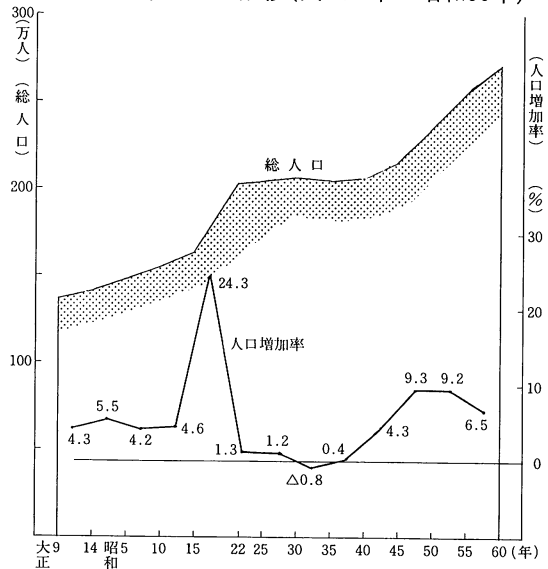
また、1km²当たり人口密度は447.2人となり、この5年間で27.3人高くなっている。

2. 県南地域は急増がやや鈍化 県北山間地域では減少に歯止め

人口を県内5地域別にみると、今回も前回同様、5地域すべてで人口は増加している。

しかし、県北平坦地域、県南地域及び県西地域

図-1 県人口の推移(大正9年~昭和60年)



では増加率が前回より鈍化している。特に県南地域では、今回も10%を上回って高い増加率を維持し、また増加数も県増加数の過半数を占めてはいるものの、前回と比較すると増加率は半減し、増加数も約2/3に減少している。

また県北平坦地域でもかなり鈍化している。

一方、県北山間地域では、わずかではあるが増加数、増加率ともに前回は上回り、回復傾向が定着してきている。

また、鹿行地域でも前回の増加を上回った。

3. 人口増加(減少)は県全域でゆるやかに

県内92市町村のうち、この5年間で人口が増加したのは17市60町村、逆に減少したのは1市14町村である。今回も増加した市町村数が8割を超しているが、前回の増加18市60町村と比較すると減少が1市多くなっている。

今回の人口増加の鈍化はほぼ県全域に及んでおり、増加率が前回と比較して低下した市町村数が、14市46町村あるのに対し、上昇したのは4市

..... 昭和60年国勢調査結果速報から

28町村にとどまっている。上昇(減少率の低下を含む)は、県北山間地域と鹿行地域で過半数を占め、その他の地域では一部の市町村に限られ、前回急増していた市町村ではほとんどが低下している。

人口増加率(数)の高い(低い)主な市町村は表—1のとおり。

まず増加率の高い市町村では、利根町の37.4%増を筆頭に土浦市以南の常磐線沿線の市町村が上位を占め、これに筑波研究学園都市内の町村、県西地域の総和町、三和町が加わっているのは前回と同様であるが、前回よりは、大幅に鈍化している。

鈍化傾向は、増加数の多い大規模市でも同様である。

一方、減少した市町村は今回も県北山間地域に集中しているが、いずれも前回より減少率が鈍化してきており、最も減少率の高い水府村でも4.8%減にとどまっている。

なお、今回調査で牛久町の人口が51,926人と5万人を突破し、また勝田市も10万人を上回った。

4. 1世帯当たり人員は3.6人

昭和60年国勢調査による本県の世帯数は757,689世帯となった。

前回調査時と比較すると、数で64,834世帯、率で9.4%の増加であり、依然人口の増加を上回っている。

この結果、1世帯当たりの人員は前回より0.09人少なくなり、3.6人となった。

表—1 増加率(数)の高い(低い)上位市町村

順位	市町村名	増加率(%)		市町村名	増加数(人)	
		昭和60年	昭和55年		昭和60年	昭和55年
〔増加率(数)の高い市町村〕						
1	利根町	37.4	51.3	水戸市	13,421	17,613
2	守谷町	35.7	21.2	牛久町	11,762	12,490
3	莖崎町	33.9	103.0	勝田市	10,147	12,625
4	牛久町	29.3	45.1	谷田部町	7,979	7,180
5	三和町	26.0	18.5	土浦市	7,658	8,489
6	谷田部町	21.1	32.3	取手市	7,362	18,431
7	桜村	19.8	132.9	桜村	6,828	19,693
8	伊奈町	13.8	45.6	三和町	6,411	3,859
9	総和町	13.4	13.3	守谷町	6,272	3,080
10	竜ヶ崎市	13.3	6.3	竜ヶ崎市	5,725	2,567
〔増加率(数)の低い市町村〕						
1	水府村	△4.8	△7.0	大子町	△1,295	△1,342
2	里美村	△4.5	△7.4	水府村	△373	△582
3	大子町	△4.4	△4.3	那珂湊市	△313	177
4	美和村	△4.0	△5.8	山方町	△291	△457
5	緒川村	△3.5	△6.5	金砂郷村	△276	△586

なんと、4人違いが7人も

国勢調査人口予想懸賞入選者発表

本誌8月号でご案内したように、茨城県、国勢調査茨城県実施本部、茨城県統計協会では、昭和60年国勢調査にあたり、人口予想懸賞を募集しましたが、昭和60年12月17日発表の人口概数(総人口2,725,004人)により、次のとおり入選者を決定しました。

応募総数4,733通(うち無効64通)とたくさんのご応募をいただきありがとうございます。残念ながらピタリの中者はいませんでした。7人の方がわずかに4人違いを予想されました。この中から厳正な抽選の結果、4人オーバーの2,725,008人と予想した江戸崎町の山崎光春さんが1位に選ばれました。山崎さんには携帯用液晶カラーテレビが贈られます。また、山崎さんには予想の方法や

受賞の喜びをお寄せいただき、本誌上でご紹介する予定ですのでご期待下さい。

表一 人口予想分布

人 口	応募枚数
2,712,000人未満	675
2,712,000 ~ 2,714,999人	431
2,715,000 ~ 2,719,999人	1,168
2,720,000 ~ 2,724,999人	802
2,725,000 ~ 2,729,999人	535
2,730,000 ~ 2,734,999人	259
2,735,000 ~ 2,739,999人	159
2,740,000人以上	640
無 効	64
応 募 総 数	4,733

表二 昭和60年国勢調査人口予想懸賞入選者

賞	氏 名	住 所	予 想 人 口	概数との差	賞 品
1 位	山 崎 光 春	稲 敷 郡 江 戸 崎 町	2,725,008	+ 4	携帯用 液晶カラーテレビ
2 位	美留町 力	西 茨 城 郡 岩 間 町	2,725,000	- 4	ラジオカセット
	井 上 良 一	西 茨 城 郡 友 部 町	〃	〃	
	福 村 信 男	水 戸 市 元 吉 田 町	〃	〃	
3 位	寺 田 正 三	筑 波 郡 谷 和 原 村	〃	〃	腕 時 計
	小田部 芳 蔵	結 城 郡 八 千 代 町	〃	〃	
	萩 原 理 津 子	稲 敷 郡 牛 久 町	〃	〃	
	大 塚 千 代	鹿 島 郡 神 栖 町	2,724,974	- 30	
	稲 田 よ し 子	猿 島 郡 総 和 町	2,724,970	- 34	
入 賞	神 野 章 ほか 99 名	新 治 郡 千 代 田 村	2,725,432	+428	茨 城 県 民 手 帳 (大 型 版)
			2,724,567	-437	

[入賞者への通知は手帳の発送をもってかえます。]

(統計課・統計指導グループ)